

議会だより やまもと

Vol.201
令和5年8月1日発行



～短冊に願いを～

(つばめの杜保育所・こどもセンター七夕飾り製作)



令和5年
第2回定例会
会期6月2日
～9日

- 定例会概要・討論……………P2～4
- 一般質問……………P5～16
議員11名が我が町政を問う
- 委員会報告……………P18

の「減額」修正案 可決

12件（報告5件、承認6件、補正予算1件）を審議しました。議案第23号の一般会で原案審議不十分とし修正案が可決され、その他は原案通り可決しました。が質問を行いました。

発議者 岩佐 秀一 渡邊 千恵美
【提案理由】

当初予算確定後の、様々な社会情勢等の変化によって既定の予算に変更を加える必要が生じた場合に編成されるのが、「補正予算」であり、一般的に、当初予算の編成時に予期できなかった制度の改正や、公共事業費等の配分決定によるものが多く、今回補正予算に計上された、「トイレ建設工事請負費」については補正予算の性質には合っていない。

このように、いとも簡単に補正を重ねると、年間予算としての当初予算の意義がなくなり、財政運営の一貫性が失われることになる。

よって今回、補正予算として計上されているトイレ建設工事請負費については、十分な審議を必要とする事業であり、入念な計画のもと提案すべきではないかと考え、削除することが適当であると判断し、提案するものである。

修正案に賛成

竹内和彦議員

菊地康彦議員

大和晴美議員

高橋建夫議員

必要なら
なぜ壊した

説明と議論を
深め建設を

補正予算なので事
前に説明すべき

議会への事前
説明がない

公衆トイレ建設費 2千700万円は、補正予算を組まなければならぬ程の緊急性があるとは思えない。付近には元々立派なトイレがあった。津波被害で使えなくなった事で510万円かけて修繕した。その後、数年もたたないうちに48万円かけて解体した。そして今回、新たに2千700万円かけて建設するのは、これまでの経緯から見てもとても納得できる話ではない。予算の優先順位から見れば、学校給食無償化を優先すべきである。

山元町東日本大震災慰霊碑「大地の塔」は犠牲になった637名の方々を次世代に未来永劫語り継ぐ場であり、観光地ではない。私たちは静かに手を合わせ見守る場所である。トイレについては造ることに反対するものでなく、なぜ修繕し大切に利用していたものを解体し、また再建するのか。私たちに何の説明もなく議会軽視と言わざるを得ない。また、責任ある判断ができない。急がず、しっかりと説明、議論を行い造るべきである。

今回のトイレ建設工事請負費は、補正予算である。当初予算から思慮を重ねてきたのであれば、本会議に至るまで議会への説明をするべきであった。また、慰霊碑の意味は、霊を慰めるもの、震災など二度と起きないようにとの思いを強くするものと考えられる。災害が頻りに起きている現在、排水対策など町民にとって、より緊急性のあるものはないかと検討した上でトイレ建設をするべきである。

私が原案に質疑した提案の時期（なぜ補正予算か）、有利な財源捻出の努力、仕様及び金額精査が現時点では不十分と判断する。何より説明不足を強く感じ、修正案に賛成する。これ等を参考に、町長に対し、本件の捲土重来の気持ちを持期待する。

原案に賛成

阿部 均議員

伊藤貞悦議員

高橋真理子議員

岩佐孝子議員

遠藤龍之議員

トイレは
必要不可欠

設置は当然で
ある

設置は喫緊の
課題

緊急性があり一日で
も早い建設を求める

設置反対は公共
サービス否定

議案第23号の原案、災害復旧費のトイレ建設工事予算に賛成の立場で討論する。

予算に計上された「大地の塔」のトイレ建設費は、大震災で亡くなられた皆様の慰霊を目的とした「町の震災慰霊」の施設である。整備は駐車場・周辺道路等着実に進められ最終段階を迎えている。

本町は津波被災地であり、防災を伝える責務は重要である。県の震災伝承施設としても登録されている「震災遺構中浜小学校」と「大地の塔」は、年々大型バスでの来訪者も増えている。

1 慰霊碑整備の際に、駐車場・トイレ・休憩所は復興事業の中で周辺整備として一体的に取り組むべきであった。

トイレは本来、人の集まる公共施設には当然あるべき施設である。これまでの町政の中で、なぜ、設置されなかったのか、大きな疑問が残る。大地の塔は被災され亡くなった遺族関係者が集まる神聖な公共施設の場であり、トイレがないのはおかしい。トイレ設置に反対する行為は、公共サービスの後退、否定につながる立場であることを強く訴え、トイレ設置の原案に賛成する。

山下停車場線、花釜牛橋線、県道の整備等の様々な関係で旧山下駅トイレが撤去され現在に至っている。震災遺構中浜小学校と共に鎮魂の碑「大地の塔」は、637名の不慮の死を遂げられた方々を祭っており、大きな意味合いを持つ施設である。震災から10年経過し、高齢化も進み、トイレは付近には必要不可欠である。よって原案に賛成する。

当初予算で計画すべきで補正ではとの考えもあるが、トイレ設置の方が遙かに大きなメリットがあると考え、原案に賛成するものである。

このことから、トイレ建設の原案は、緊急性のある補正予算と捉えられる。確かに議会への説明不足は否めないが、反対理由にならない。昨今の建設費の高騰もあり、トイレ設置は喫緊の課題であるため、原案に賛成する。

2 道路や公園内で軽犯罪法第1条26号違反、マナー違反がある。

3 新型コロナウイルス感染症の5類移行による来訪者の増加。亡くなられた方々の御霊に心を寄せ、霊魂を慰める環境整備をしていくべきである。1日も早い建設を求め原案に賛成する。

トイレ建設工事請負費

第2回定例会は、6月2日から9日までの8日間の日程で開催され、町長提出議案計補正予算では修正案が提出され、採決の結果、賛成6反対6の同数により議長裁決一般質問は、今後のまちづくりや、物価高騰対策など町政運営について、11人の議員

一般質問 我が町政を問う

- ◇菊地 康彦 議員 P6
 - 1 今後のまちづくりについて
- ◇品堀 栄洋 議員 P7
 - 1 買い物困難者について
 - 2 地産地消の取り組み強化について
- ◇伊藤 貞悦 議員 P8
 - 1 小学校再編における今後の進め方について
 - 2 我が町の特産品「りんご」の持続可能な将来構想について
 - 3 町民が望む構想や具体的な政策・計画について
- ◇竹内 和彦 議員 P9
 - 1 職員のメンタルヘルス不調について
 - 2 ハラスメント対策について
 - 3 新型コロナウイルス感染症対策について
- ◇渡邊千恵美 議員 P10
 - 1 こども施策について
 - 2 通学路環境整備について
 - 3 地区防災計画について
- ◇大和 晴美 議員 P11
 - 1 空き家等対策について
 - 2 AED（自動体外式除細動器）の利活用について
- ◇高橋真理子 議員 P12
 - 1 観光・交流など賑わい対策について
 - 2 自分らしい生き方ができる社会形成について
- ◇岩佐 秀一 議員 P13
 - 1 子育て世帯支援について
 - 2 農業振興地域整備計画の見直しについて
- ◇高橋 建夫 議員 P14
 - 1 少子高齢化を見据え、持続可能なまちづくりについて
 - 2 旧坂元中学校の利活用に係る検討経過について
 - 3 町長公約の豪雨水害対策について
- ◇岩佐 孝子 議員 P15
 - 1 震災からのまちづくりについて
 - 2 誰もが安全安心して住める町づくりについて
- ◇遠藤 龍之 議員 P16
 - 1 物価高対策の取り組みについて
 - 2 マイナンバーカードを巡る諸問題について
 - 3 行政組織機構の確立について

○一般質問とは

町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの

こちらから録画映像を見ることができます➡



議案第23号 採決表

修正案 賛成反対同数のため議長裁決により可決

氏名	伊藤 貞悦	品堀 栄洋	岩佐 秀一	大和 晴美	渡邊千恵美	高橋真理子	竹内 和彦	遠藤 龍之	岩佐 孝子	阿部 均	菊地 康彦	高橋 建夫	岩佐 哲也
採決結果	●	●	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	-

賛成 ○ 反対 ● 議長 -



【その他補正予算】

新型コロナウイルス感染症関連経費などのほか、地方創生臨時交付金を活用した、物価高騰に直面する生活者への支援に関連する経費（住民税非課税世帯への給付金、販売農家への農業用生産資材購入費支援等）や、災害情報システム整備費用予算が計上されました。
一般会計予算1億6,559万円を増額し、総額84億1,012万円となりました。



主な事業

○住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業	4,200万円
○幼稚園型一時預かり事業業務委託料	1,078万円
○新型コロナウイルスワクチン予防接種関連事業	3,514万円
○農業振興地域整備計画現状調査業務委託事業	404万円
○農業用生産資材価格高騰支援事業補助金	1,326万円
○災害情報システム構築業務委託事業	2,046万円

主な質疑

- 議員** 消防費のトイレ建設について、当初予算ではなく、なぜ補正予算の提案か。補正予算の性質上、本件のような提案は類を見ないが。
- 町長** 当初予算と計画したが間に合わず、今回の提案となった。
- 議員** 議会への説明がなかったのでは。
- 町長** 謝るしかない。
- 議員** 農業振興費について、当初予算に対し補助金の増額となったが、今後の対応は。
- 課長** 加算した支援を改めて周知し、早急に交付する。
- 議員** 学童保育委託料の増は支援員の増員分か。
- 課長** 山下小学校へ3名の追加分の予算となる。
- 議員** 各種給付金等があるたびに多額のシステム改修費が発生するのか。
- 課長** 給付金の通知、送金および支給に関する改修費となる。



議員 菊地 康彦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

過疎債の活用で今後のまちづくりを

町長 今後を見極め慎重に判断する

議員 過疎からの脱却のための施策は。
町長 地域の活力創造に資する施策に取り組み。
議員 具体的な施策は。
町長 具体的策に至っていない。
議員 過疎債の活用は。
町長 過疎債とはいえず借金である。その辺も勘案し進める。
議員 過疎債は、一般財源を7割減らして事業ができる。活性化し脱却するための思い切った施策が可能では。
町長 全体を見て、活性化につなげ、過疎からの脱却の計画をする。
議員 津波防災区域の方々への対応に活用は。

町長 防災計画の見直しや、さらなる防災の意識付けが必要である。
議員 避難タワーの建設は考えられないか。
町長 個人的には必要と考える。
議員 過疎債の活用で、「安全な所に移転」をさせられないか。
町長 被災された方々の置かれていた状況が違うので、慎重に進めなければならぬ。
議員 東街道の通学路に対する安全対策は。
町長 今後も歩道の整備など、計画的に進める。
議員 当初予算に計画が入らなかった理由は。
町長 予算の面で計画ができなかった。
議員 これは急務な事業と思う。過疎債の活用で早期に子ども達、地域の安全のため事業執行するべきである。
議員 高齢者へのスポーツ施設への活用は。

町長 高齢者のスポーツへの取り組みは盛んに行なわれており、引き続き施策を検討する。
議員 競技人口の多い「パークゴルフ」への対応をどの様に考えているのか。
町長 土地の面積、場所を含め検討している。
議員 パークゴルフ協会との協議は。
町長 そこまでに至っていない。
議員 競技をする場所がなく、移動にも高齢により障害がある。何らかの手当てが必要ではないか。
町長 町としてできる範囲で検討していく。
議員 スポーツ少年団の活性化への活用は。
教育長 スポーツの楽しさ、魅力が伝わる新たな取り組みを検討したい。
議員 スポーツ少年団の利用できる施設が少なく、学校施設の活用が期待されるが。



元気があれば何でもできる

教育長 学校も町の施設の一部と考える。
議員 学校活用では備品がなく、親の負担になっっている。
教育長 今後の検討課題になるが、多少の負担はやむを得ないと考える。

議員 今後、部活動の地域移行も言われる中、親の負担が課題となるので検討が必要と考える。

その他の質問
就農支援と定住促進を合わせた施策は

公共交通の利便性向上を

町長 今後総合的に判断したい

議員 町民バスの増便及び運行エリアの拡大並びに地域公共交通の無料化を講ずる考えはないか。
町長 地域公共交通会議等において、住民や関係機関の意見に耳を傾けながら、総合的に判断していく。
議員 福祉タクシー利用助成事業について、子育て世代や高齢者に対しての事業として拡充を図る考えはないか。
町長 今後、総合的に調整を図っていく。

議員 町は、県内でも高齢化率が3位と高い。高齢者や障がいのある方等、買い物困難者の実態を把握し、打開策を考えているか。
町長 また、福祉タクシーも乗り合いを可能としたり、車椅子での利用等、買い物困難者に寄り添った告知や案内が必要である。
議員 希望者を対象に、デマンドタクシー、介護タクシーの乗車体験講習会を実施する考えはないか。

町長 本当に大事なことだと思う。検討する。
議員 子育て世代、妊婦さん、乳幼児健診及び産後ケア等を利用している方に、交通費の一部を福祉タクシーと同程度の補助ができるか。
町長 子育て世代、高齢者も含め大きな検討課題になるので、今後

検討していく。
議員 国、県の補助を活用し、既存の公社や商業施設と協力し、移動販売車の運営は考えられないか。
町長 移動販売業者と連携を図りたい。
議員 町が移動販売のルート地図、時間案内等、高齢者や障がいのある方、免許返納者、区長、民生委員に告知すべきでは。
町長 今後検討していく。



議員 品堀 栄洋

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



一人一人に最適な交通手段の周知を

直売所及び坂元地区の利便性向上を

町長 今後検討したい

議員 農水産物直売所に、地場産品の一次処理（加工）場を設置する考えはないか。
町長 直売所を建設する際に、加工室の必要性を検討し整備したが、現在は利用していない。
議員 施設を使用していない理由は。
課長 厨房機器等も含め一定の整備をしているが、利用や、運営上に課題があり、使用していない。
議員 惣菜等加工品の売り上げが好調と聞いているが、どの程度か。
課長 約4千400万円の売り上げのうち、全体の13%、非常に高い構成比であると受け止めている。
議員 購入層の分析はしているのか。
課長 弁当、惣菜関係は地元の方の利用がほとんどである。
議員 直売所は坂元地区の食料供給の重要な役割を担っているものと考えており、さらなる利便性向上を期待する。



伊藤 貞悦 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

学校環境整備の最重要課題は何か

町長 学校をどこに設置するか

議員 小学校再編において、学校の環境整備における最重要課題をどのように考えているか。

町長 学校は、地域住民のコミュニティの場である。子どもたち及び保護者にとって生活の基盤である事等を考慮すると、多くの諸課題の中でも「校地」つまり学校をどこにどのよう設置するのかが最重要課題であると考えている。

議員 学校再編を描いた「町づくり」の未来ビジョンや都市計画は考えているのか。

町長 具体の検討はこれからである。通学の

観点から人口分布や交通のアクセスに配慮し、学業に適する環境や災害のリスクを避けた立地とするなど町全体の都市計画との関連も重要な視点であると考えている。

議員 再編完了の時期を意識しているのか。

町長 令和10年もしくは11年度に新小学校開校を計画していたが、昨年度「一旦保留」となり、具体の「再編完了時期」は今後検討し、スケジュールを立て見極めていきたい。

議員 学校再編のスタート(新小学校開校)までは最低でも5年かかる。これから5年

間は、今の子ども達をどうするか。この話し合いはされていない。再編理由の中に複式学級問題があった。現に複式学級がある。この解消方法は考えなくてよいのか。



今年で150年

町の特産品「りんご」の将来構想は

町長 担い手確保は重要課題と捉えている

議員 果樹農家に対する積極的な支援に取り組む考えはないか。

町長 本町は県内有数の「りんご」の産地であり町が誇る特産品の一つでもある。しかし、高齢化や後継者不在の状況から生産者数は年々減少し、現在は約20戸となっており、担い手確保は重要な課題と捉えている。

議員 中山間地域を「果樹・フルーツ団地

等」として開発や奨励等の考えはないか。

町長 担い手確保や生産基盤の強化に繋がる有効な施策と認識している。この取り組みは産地維持のための方策として考えられる。団地化には農地の集積やかんがい施設の整備、初期費用が必要となり、農家負担が増大するとも考えられ、町としては慎重に対応したい。

パワハラ防止対策をどう考える

町長 今の現状のまま当分続ける

議員 我が町のハラスメント防止要綱は、職員に周知されているのか。

課長 課長会議で説明し職員には周知されている。

議員 昨年の秋、町職員2人が業務遂行中にパワハラと考えるような事案が起きている。当人は大きなショックと精神的に大きなダメージを受けたと聞いているが、これがハラスメント防止要綱に当てはまらないのは問題

では。

町長 この件は当事者同士のトラブルであり、話し合いで解決をしている。

議員 町のハラスメント防止相談窓口には、これまで1件の相談もないのはおかしい。

町長 職員が職員以外からパワハラを受けた場合には、必要に応じて警察をはじめしかるべき機関に相談することになる。

議員 過去に、議会会期中に傍聴人から、議員に対しパワハラとも恫喝とも思えるような暴言があった。議員は涙ながらに耐えていた。こんなことが許されていないのか。

町長 パワハラを庁舎内から一掃することを目指し、ハラスメント防止条例を制定する意思はあるかどうかを伺う。

議員 これまでもいろいろ対策を講じている。ハラスメント防止要綱の中で続けていきたい。



竹内 和彦 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

コロナ感染症再流行への対策は

町長 基本的な感染対策を注意喚起する

議員 コロナ感染症の法律上の位置づけが、5類へ移行する。これからの再流行にどう対応していくのか。

町長 感染拡大が懸念されることから、市民の皆様には場面に応じたマスクの着用や換気、3密回避など、基本的な感染対策を引き続き注意喚起し、公共施設には検温計や手指消毒の設置を継続していく。

議員 ワクチン接種により、副反応に苦しむ方の現状把握と対策は。

町長 副反応に関する相談件数は、今年の4月末までに51件あり、後遺症を残すような事例は確認されていない。今後ワクチン接種は希望者への接種が前提であるが、引き続き副反応への相談と把握に努め、万が一健康被害が生じた場合には迅速に対応していく。

議員 コロナは、感染症法上5類に移行しても、備えはこれまでと同様に続けていくべき。また、コロナへの対応は個人の判断が求められるので、これまで蓄積されたデータを早く公表し、住民が適切な判断が出来るようになるべきではないか。





わたなべ ちえみ 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

こどもまんなか社会の取り組みを 町長 子育てしやすい環境づくりに努める

議員 「こども家庭庁」ができ、国や町の形を「こどもまんなか」へと変えていこうとしている。町長はどのように捉えるか。
町長 人口が減ると社会経済も衰退していく。これからも子育てしやすい環境づくりに努める。
議員 こどもや若者から意見聴取のため、意見箱の設置、ウェブサイトやSNSなどを活用し意見を取り入れ、町づくり施策にいかす考えはないか。
町長 斬新で枠にとらわれない発想は大事であり有効な部分であるため、今後検討する。



元気にすすすくのびのびと

議員 フードバンクやこども食堂の取り組み、ニーズや現状、支援状況を把握した上で、今後の対策をどのように講じていく考えか。
町長 こども食堂に協力をいただける団体と連携を図りながら、支援対象児童等の見守りを含めて、事業実施を幅広く検討していく。
議員 こども食堂は、SDGsと繋がっており、地域における食育の推進、交流拠点となることが望ましいと考える。フードバンクへの呼びかけ協力、こども食堂の場所提供等をしてはどうか。
町長 どこまで支援、協力できるか、団体への後押しも含め、幅広く見ていく。
議員 室内遊具の設置、英会話教室、図書カフェブース等、坂元地

り、地域における食育の推進、交流拠点となることが望ましいと考える。フードバンクへの呼びかけ協力、こども食堂の場所提供等をしてはどうか。
町長 どこまで支援、協力できるか、団体への後押しも含め、幅広く見ていく。
議員 室内遊具の設置、英会話教室、図書カフェブース等、坂元地

区の方々に今までと変わりなく子どもの声や元気な笑顔が届く大きな地域の交流拠点として旧坂元中学校の施設を活用する考えはないか。

町長 公募型プロポーザルにより民間活力を活用し、よりよい形での利活用が図られるよう、鋭意努めていく。

通学路危険箇所の整備はまだか

教育長 協力・対応し安全確保に努める

議員 通学路において歩行者の部分に着色し、より一層注意喚起を図る考えは。
教育長 近隣市町の効果や有効性を確認し、道路管理者等と協議していく。
議員 通学路で危険な横断歩道、停止線が消えている。また、側溝に蓋がない。早急に点検・整備を求めているが進捗は。
教育長 通学路全域において再度確認し、道路管理者等と協力・対応し安全確保に努める。
議員 安全・安心な生活環境整備は基本である。1日も早い実現を求める。

その他の質問
地区防災計画及び防災備品の状況について

管理が不適切な空き家の対策は

町長 空き家等対策計画策定して取り組む

議員 空き家等対策計画の策定及び法定協議会設置の進捗状況は。
町長 空き家等対策計画は年度開始早々に業務委託契約を締結している。現在、現地確認調査実施に向け、空き家等候補の抽出作業に着手している。また、法定協議会は、現地調査の進捗状況等を踏まえ、時期を逸することなく設置したい。
議員 現在抱えている課題を解決できるのか。
町長 解決するために

今年度策定を始めた。
議員 適切な管理が行われていない空き家等に関する対策は。
町長 長期間にわたり適切な管理が行われず、除去等の対応が必要と思われる特定空き家への対応は急務であり、計画策定の上、法に基づく対策に取り組む。
議員 「誰もが安心・安全に暮らせるまち、山元町」のために、今年度は空き家等対策に本腰を入れて取り組むべきでは。

町長 スタートしたところなので、早急に進めていきたい。
議員 秋田県大仙市では、危険空き家の所有者に代わって解体を引き受ける町内会などに補助金を支給する取り組みによって、解体件数が急増している。このような取り組みは。
町長 スタートしたばかりなので、しばらく見ていただきたい。



やまと はるみ 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

AEDに三角巾を配置しては

町長 できるだけ早急に配置したい



おもだか館に配置のAED

議員 AEDの配置状況と使用率は。
町長 役場本庁舎をはじめとした公共施設や企業等43カ所に設置されている。また、使用率は、令和2年から先月まで救急隊が出勤した際に8件の使用例があった。
議員 配置場所と使用方法の周知状況は。
町長 設置場所に目立つように表示しているほか、巨理地区行政事務組合のホームページに設置場所一覧と場所を示す地図を公開している。使用方法の周知については、同事務組合で毎月9日に救命講習会を開催し

ている。町としては、防災訓練等の機会を捉え、周知に努めたい。
議員 傷病者のプライバシーに配慮するため、パッドを取り付け後、体を三角巾で覆うことができるように、AEDに三角巾を設置する考えは。
町長 公共施設については、必要と再認識したので、同事務組合と協議し前向きに対応する。
議員 ためらいなくAEDを使用していただくために三角巾配置の必要性は高いと考えるが。
町長 できるだけ早急に配置したい。



たかはし まりこ 議員
高橋 真理子 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

コロナ禍後の交流人口増加の対策は 町長 今広域的な連携や穴場的な魅力を発信

議員 仙台空港利用促進計画に伴い、空港に近い本町のインバウンド推進に向けての計画は。

町長 名目地域2市2町の広域的な連携を基本に、「いちご狩り」や「震災遺構中浜小学校」等、効果的なプロモーションを行っていく。

議員 県では、タイ等で東北の魅力をPRするイベントを開く計画がある。タイへは県の農産物輸出戦略で本町から4生産者のイチゴを輸出している。タイアップして賑わいの活用を。

町長 有名観光地には

ない穴場的な場所として、誘客の企画を図りたい。

議員 年々増えている「みちのく潮風トレイル」を通しての誘客対策は。

町長 町内の四方山から深山までを縦断し、ルート上には拠点施設が配置されており、特に深山山麓少年の森の改修後は、さらなる利用が期待できる。多くのポテンシャルのあるコース、関係市町村と連携を密に誘客対策を

図っていく。

議員 県内有数のサーフポイント周辺の、遅れている道路整備や駐車場、トイレ等の整備は。

町長 サーフィン愛好者等多くの若者が集い、町の活性化や交流人口に繋がるものとの認識はある。国や県の管理であり、思うように進んでいない。今後も働きかけ、町管理の道路は砂利敷き等の維持管理に努める。

議員 12年前に計画さ



登山客でにぎわう少年の森

れたサーフィンの「町長杯」を実施する考えは。

町長 今後の検討課題とした。

議員 子ども達から提案のあった砂浜でのイベント開催の予定は。

町長 海岸クリーン作

戦の再開に併せ、具体的な開催時期等について今後判断したい。

議員 「ふるさと観光大使」を任命する考えは。

町長 活動内容の整理等、前向きに考えたい。

多様性を受け入れ 偏見のない社会を

町長 いろいろなき方が
あるのは当然

議員 パートナーシップ制度の導入が進んでいるが、本町の考えは。

町長 否定する考えはないが、県内の自治体の動向等を見据えながら、導入には慎重な検討が必要である。

議員 性的マイノリティの児童生徒についての把握やLGBT等の教育、教員の研修に

ついては。

教育長 デリケートな面もあることから積極的な把握は行っていない。来年少学校の教科書にそれらに関する記述が増える傾向で、差別やいじめなど幅広い人権意識の一環としての指導においても、今後教員の研修は必要と考える。

子育て世帯への支援を

町長 重要な施策であると考えている

議員 元坂元中学校跡地を、子育て世帯の移住・定住用地として活用する考えはないか。

町長 地域の活性化を図る上で、大変貴重な土地であると認識している。しかし、現状においては、移住・定住用地の計画案等は策定しておらず、示せるものはない。

議員 20年以上定住し、子育てすれば土地は無償贈与等とする考えはないか。

町長 子育て世帯を意識した宅地として、新たな居住環境を整備し、無償貸付けなどを行うことは、大変現実的な提案と受け止め、今後、地域の声を聴いて、検討したい。

議員 小・中学生の給食費を完全無償化する考えはないか。

町長 国の動向等を注視するとともに、公約でもあるので、引き続き具体化に向けた調査・研究を進めたいと考えている。

議員 他市町村で給食費の無償化が増えつつあり、村田町は過疎債を活用し無償化した。過疎債の活用を図れば財源の70%は還元されるので、物価高で生活が困窮しているこの時期に無償化とし、景気が良くなれば段階的に戻す手法もあるが。

町長 無償化を一回行って戻すことは想定していない。しかし、無償化はできるだけ早く実施したい。



いわさ しゅういち 議員
岩佐 秀一 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



大変な毎日の送迎

農業振興地域整備計画の見直しは

町長 令和7年度下期になると見込む

議員 山元南インター周辺を農振農用地から除外する考えはないか。

町長 同区域は、国道6号や県道角田山元線に直結するなど、交通便利性に恵まれた環境にあることから、除外する方向である。

議員 計画の見直しは、令和7年度上期で完了できるのか。

町長 県と変更計画の同意を得るための協議を行うため、整備計画の見直しの完了は令和7年度下期になると見込んでいる。

議員 計画決定までの期間、農振農用地の除外申請もすべて受付を中止するのか。

町長 県との協議期間中は、農振農用地の面積や、変更計画案の基礎資料に変更があると協議が定まらないことから、規模の大小に関わらず、除外申請の受付をすべて中止させることとなる。

議員 農振除外申請受付停止期間の周知を徹底し、申請者にできるだけ影響を与えないよう注意を図ることが必要では。

課長 長期間になることが、想定されるので、周知については、不便を掛けたいよう徹底し、丁寧な説明を行っていく。



たかはし たてお 議員
高橋 建夫

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

転出者より転入者が多い町を

町長 課題解決に町民の声を反映する

議員 県内最高水準の「移住及び定住促進事業」は必要だが、年間約1億円の「一般財源」は、今後の対応に、問題はないか。

町長 メリットを考え2年延長したが、補助金等の活用は難しい。内容の見直しを視野に検討する。

議員 復興最大の課題である東部地区農地整備事業のうち非農用地196畝の利活用が町の活性化に重要であるが、町長の考えは。

町長 企業誘致等が考えられるが、今は全体の換地、精算業務に専念している。

議員 町長は「小学校

再編は教育委員会の方針どおり1学区区」とし、教育長からは、小中一貫校等の教育形態は今後対応可能と確認できた。

したがって、「立地と財源」が課題になると思われる。校舎の築年数を考え、例えば山二小を増築すれば現実的予算と思うが。

教育長 可能性の一つで、それが一番とは現時点で言えない。

議員 再編による教育の資質向上とクラス替えは、児童が遅く育ち、移住・定住の重要な要素である。総合教育会議で業務を明確にし、予算、立地、スケジュールを議会に提示すべきでは。

町長 学校の細部は教育委員会が進め、予算場所はお互いに連携し、議会に報告したい。

教育長 特色と魅力ある学校づくりをし、ま



活用が期待される東部地区非農用地

ちづくりにつながればと考える。

議員 住民との対話が重要であり、「ふれあいトーク」実施の考えは。

町長 新型コロナウイルスの現状踏まえ、「地域懇談会」を開催し、町の方向性や地域の諸課題解決に、町民の意見を伺いたい。

議員 町の実態把握の場とし、「町民の平等・公正・公平」な町政運営を求む。

北部最大の排水課題

サイホン改修を

町長 令和6年度に調査費を計上する

議員 公約第一に「豪雨災害対策」がある。北部3行政区の排水を受け、巨理用水路の下をまたぐ「サイホン」(排水施設) 8本中4本の改修が最大の排水課題である。早急な対応は。

町長 土砂清掃、緊急時の応急ポンプ排水等実施しているが、施設の許容雨量は近年の豪雨の対応水準でなく調査を要する。

議員 行政区の強い要望、住民の豪雨時の恐怖感を強く主張してきた。他の排水工事の進捗を見極めながら調査するとしてきたが、実施時期は。

議員 障がい者が安心して暮らせる生活環境整備について伺う。現在、ショートステイ、グループホーム等への対応は。

町長 自宅での介護ができない場合、障がいのある方に障害者支援施設、児童福祉施設に短期入所する等の自立支援をしている。

議員 町内に施設はあるのか。

町長 ショートステイは静和園で21人の方を受け入れている。

議員 グループホームは27人利用しているが受け入れ先は。

課長 白石市、巨理町等で受け入れている。

議員 当町の整備計画は。

町長 民間事業者から開所相談があるので、補助制度等を紹介し、地域生活支援拠点の充実に努めていく。

議員 地域の中で働く場、安心して生活できる基盤、一人一人を大事にできる町づくりを築きたい。

- その他の質問
- 1 旧坂元中活用、公募前の検討経過は
 - 2 中央公民館、勤労青少年ホーム等の利活用は
 - 3 基幹産業振興策としての利活用は
- 新たな教育施設、子育て・高齢者福祉施設の利活用は

震災からの町づくり状況は

町長 課題は検討し実施に努める

議員 震災当時、子どもたちのためいち早く災害公営住宅に入居したものの、その子どもたちは社会人となり収入超過世帯となり、若者は退去せざるを得ない状況になっている。対策は。

町長 町では家賃減免は10年間で2年間延長している。

議員 退出者を町内居住へ促す対策は。

町長 今後考えていく。

議員 人口流出を最小限に食い止めるために

保育所建設は。

町長 現時点では未定である。

議員 人口減少要因は、27年度交付金を一極集中の保育所建設してしまつた結果である。

1日も早く子どもたちを安心して預けられる施設の建設を望む。

慰霊碑周辺へのトイレ整備を早急にすべきでは。

町長 補正予算を上程している。議会で可決していただければ今年

度中に完成させたい。

議員 訪問してください。の方々の利便性を考える。

1日でも早く実施すべき。震災以前に発行していた「町史1巻・2巻」を再版する考えは。

町長 大震災により流出、経年劣化損傷している。が、記事データがなく出版には費用を要する。資料保存、閲覧者の利便性向上の観点からデータ化したい。

議員 再販の検討を。

町長 費用等も鑑み検討していく。

議員 「町民歌・山元音頭」のCD化は。

町長 費用等の調査をしていく。提供方法などは他自治体での取り組みを参考に取組む。

議員 町の歴史・文化等について、町民が共通理解と郷土愛を深め、次代へ継承していくためにも必要である。



いわさ たかこ 議員
岩佐 孝子

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



未来へ向けて歩もう

一人一人を大事にできる町づくり

町長 地域生活支援拠点の充実に努める

議員 障がい者が安心して暮らせる生活環境整備について伺う。現在、ショートステイ、グループホーム等への対応は。

町長 自宅での介護ができない場合、障がいのある方に障害者支援施設、児童福祉施設に短期入所する等の自立支援をしている。

議員 町内に施設はあるのか。

町長 ショートステイは静和園で21人の方を受け入れている。

議員 グループホームは27人利用しているが受け入れ先は。

課長 白石市、巨理町等で受け入れている。

議員 当町の整備計画は。

町長 民間事業者から開所相談があるので、補助制度等を紹介し、地域生活支援拠点の充実に努めていく。

議員 地域の中で働く場、安心して生活できる基盤、一人一人を大事にできる町づくりを築きたい。



えんどう たつゆき 議員 遠藤 龍之

議員の一般質問の映像配信をご覧いただけます。

学校給食費等の支援の活用は

町長 皆さんの期待を裏切らない時期に

議員 物価上昇は収まる気配はなく、今年のお食品値上げは2万5千106品目で、早くも昨年の水準2万5千768品目と肩を並べている。今年4月の全国消費者物価指数は、生鮮食品を除く食料が前年同月比9.0%の上昇と、約47年ぶりの高い伸びとなっており、さらに電気料金の25%大幅値上げも実施されている中、町民のくらし支援策が取り組まれていくが、取り組みの現状と取り組みにあたっての町の考え方は。

町長 物価高騰の影響が特に大きいと判断される分野に重きを置き、生活者支援では、低所得者や子育て世帯等への支援策に対し、事業者支援では、農漁業者等への支援策を中心に実施するとして町の考え方に基つき、これまでの国の支援策を活用し、町内の販売農家に肥料価格高騰支援事業として約600万円、同じく農業用生産資材価格高騰支援事業として2千700万円、漁業者には、漁船燃料の価格高騰を支援する漁業経営継続支援事業約100万円、子育て支援策としては、給食食材費支援事業約600万円、児童福祉施設副食費支援事業約100万円、住民税非課税世帯等に対しては臨時特別給付金事業約4千800万円など予算計上している。

議員 地方創生臨時交付金「重点交付金」の推進事業メニューにある、物価高騰による小中学生の保護者負担を軽減するための学校給食費等の支援の活用は。町長 学校給食費の無償化に対する検討については、できるだけ早急に皆さんの期待を裏切らない時期に、と考えている。



議員 マイナンバーカードをめぐる、個人情報流出につながるトラブルが相次いでいる。住民票のコンビニ交付、マイナ保険証に続き、公金受取口座とのひも付けでも判明。現在もトラブルが広がっている中で、保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化し、使途も広げる改正法が成立した。国民の不信は高まっているが、町での影響はあるのか、国保事業へのマイナンバーカードの一体化の対応は十分か。

町長 苦情等はない。不安要素があるのは認識しており、導入に伴う諸課題については必要に応じて国に働きかけるなど、被保険者が安心して利用できるよう努めている。

その他の質問
・新たなまちづくりを進めていくための、行政組織機構の確立を
・この間の行政組織機構の見直し等の取り組みについて、質の高い行政サービスの提供は対応できているか。

マイナカード トラブルの対応は

町長 安心して 利用できるよう努力

総務民生常任委員会視察研修

研修月日

令和5年5月10日

研修地

- 1 宮城県川崎町
- 2 宮城県利府町

視察項目と研修地概要

- 1 公共交通事業
(町民バス、タクシーチケット)
(川崎町)



町民バスは、公共交通機関の確保と福祉向上を目的に、平成13年度から4台で運行を開始した。

運行日は月曜日から金曜日(土、日、祝日、及び年末年始は運休)で、料金は一律100円である。また、障がい者、70歳以上の免許自主返納者及び高校生以下は無料となっている。タクシー利用助成事業は、日常生活を営むことが困難な在宅高齢者等に対し、タクシーを利用料金の一部を助成することで、自立した生活を営むことを目的とし開始された。

まとめ

- 1 地域おこし協力隊事業(利府町)
・梨農家の高齢化や担い手不足によって、梨農家の生産量が減少し、町特産品である利府梨の産地維持を図るため、地域おこし協力隊を活用して次世代の新たな担い手や新規就農者となる人材を育成し、生産の安定を図るため取り組んでいる。

- 1 行政区長、教育委員等の意見・要望に耳を傾け、現状を把握し改善に取り組んでいる。当町においても、町民の要望を真摯に受け止め取り組むべきである。
- 2 隊員を確保するためには、事業内容、住居だけでなく、任期終了後も町内に定住できるような、総合的支援が必要である。

令和5年 第2回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第2号	専決処分の報告について(賠償額の決定及び和解)	報告
報告第3号	専決処分の報告について(工事請負契約金額の変更)	
報告第4号	専決処分の報告について(工事請負契約金額の変更)	
報告第5号	繰越明許費繰越計算書について	
報告第6号	事故繰越し繰越計算書について	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(山元町町税条例の一部を改正する条例)	
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(山元町国民健康保険条例の一部を改正する条例)	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(山元町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(東日本大震災に伴う山元町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例)	
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度山元町一般会計補正予算・専決第4号)	
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度山元町一般会計補正予算・専決第1号)	
議案第23号	令和5年度山元町一般会計補正予算(第1号)【P2~4に記載】 ※修正案賛成6、反対6 同数のため議長裁決により修正案可決	修正可決

総務民生常任委員会

産建教育常任委員会

町の仕事をチェック!!

公共交通事業

町民バスにおける目的や、運行経路、デマンド型乗合タクシーと介護タクシーとの連携、公共交通会議について調査した。

- ① 目的、規模について再度確認する必要がある。特に、デマンド型乗合タクシーのあり方については、利用しやすい方法を検討すべきである。
② 小・中学生の利用料金無料化を行い、子育てしやすい環境整備を図るべきである。
③ 公共交通会議専門部会においては、住民の意見を積極的に反映させた議論を行うべきである。

地域おこし協力隊事業

制度の概要、隊員の募集・受け入れ体制の整備、具体の採用活動および今後のスケジュールについて調査した。

- ① これまでの町の支援策やスピード感等の反省点を生かし、計画を進める必要があるためにも、継続調査とすべきである。



農業振興施策

新規就農者支援及び農業振興施策に関する事業計画について調査した。

- ① 新規就農者支援は、国の制度を活用し、軌道に乗るまでの道筋は立てられているが、新たな人材の呼び込みや就農者が町に残る様な施策については、町の独自支援において進めていくべきである。
② 農業振興施策は、「食料・農業・農村基本計画」を基本方針として計画しているが、農業の持続発展に対しては多くの課題があることから、町にあった施策に集中し、計画達成に努めるべきである。

部活動の地域移行

令和6年度から実施と

なる地域移行の、県から示されているガイドラインの内容及び移行に伴う課題や検討事項等について調査した。

- ① 今後、想定される諸課題等について、各関係機関において共有を図り、実施に向けて課題解決に努めていくべきである。
② 移行後は各種団体での受け皿整備が必要であることから、ニーズ等の実態把握をし、体制整備を行うべきである。

町営住宅事業

復興公営住宅の譲渡処分と既存町営住宅からの移転について、本町の方針及び今後の予定について調査した。

- ① 譲渡については、入



- ② 長寿命化計画の適正な見直しを実施し、既存町営住宅からの移転対象者に対して、今後安心して居住できるように、早期に説明会を行うべきである。

議員の会議等出欠状況

令和5年4月1日～6月30日 出席：○ 欠席：欠(病気等)・公(公務) 員外：-

Table with columns for month, date, day, meeting name, and attendance status for 13 council members across months 4, 5, and 6.

議長交際費

Table showing council president's entertainment expenses for April, May, and June, including amounts and descriptions.



伝統文化「神楽」を次代へつなぐ絆

中浜神楽保存会 代表 高山一男 (会員15人)

金曜日の夜7時を過ぎると旧坂元中学校の一角から太鼓や笛のはやしに合せ、子どもたちの声が聞こえてきます。

「中浜神楽」の由来の記録は残されておらず詳細は不明ですが、現在継承されている神楽は、祈祷のための12の舞からなる法印神楽が原形と考えられます。五穀豊穡と除災を祈念し、震災前は毎年4月に天神社例祭で青年達により奉納されていました。保存会では、昭和58年頃から後継者育成のため中浜小学校で神楽を教えてきましたが、一旦途絶えた「中浜子ども神楽」は、平成19年に学校の総合学習で再開。学校・地域が一体となり神楽の伝承活動に取り組んできました。

しかし、東日本大震災により会員が亡くなり用具・衣装は全て流失。甚大な被害を受け会員も散り散りになり、活動休止を余儀なくされました。

震災から約5か月後、震災で元気をなくしていた時に、中浜小学校の子どもたちの「神楽をやりたい。」との声により、子どもたちを指導するという形で、活動を再開しました。平成23年10月の運動会、11月には坂元グアイスキ鎮魂祭で「中浜子ども神楽」を地域の方々に披露できました。中浜小学校が閉校し、坂元小学校に統合されてからは、中浜神楽・坂元神楽の特色を融合させて創った「坂元子ども神楽」として両保存会員が坂元小4年生に教えています。

今年の4月には、隣接に転居した会員も駆けつけ震災から13年ぶりとなる「中浜神楽450年復活祭」で披露することができました。

今は、坂元神社の夏祭り、9月10日に実施する「けんこまつり」に向け一段と熱がこもった練習となっています。地域に根付いてきた「神楽」を今後も次代へ伝承し、文化を継承していきたいです。

◇◇◇ お知らせ ◇◇◇

〈議会広報・広聴常任委員会〉

委員	委員	委員	副委員長	委員長
高橋 建夫	岩佐 孝子	渡邊 千恵美	菊地 康彦	岩佐 秀一

令和5年 第3回山元町議会定例会 (予定)

会期：9月1日(金)～9月21日(木)
開会：午前10時
本会議：9月1日・5日・6日・8日・21日
(一般質問：9月5日・6日)

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

5月に植えた早苗はたくましく育ち、雷の恩恵を受けてこれから暑い夏に備える時期となりました。

新型コロナウイルス感染症は、第5類となりましたが、第9波が一部で不安視されています。まだまだ予断を許さない状況ですが、基本的な感染予防策を徹底し、自分の身は自分で守り、家族を守りましょう。

議会だよりは、議会唯一の情報源です。これからも「町民に読みやすい紙面づくり」を合言葉に、正確な情報をお届けしたいと思えます。

皆様、今後ともご愛読のほど、よろしくお願いたします。

(副委員長 菊地 康彦)